
出張授業のご案内

2025

杉野服飾大学では、高校在学中に大学の学びを体験できる出張授業を実施しています。貴校からのご依頼に基づき本学の教員を派遣いたしますので、貴校の授業の一環としてご活用ください。

その好きを、かなえます。



■ アドミッションポリシー

服飾学部アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

杉野服飾大学は、チャレンジ精神をもって、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた想像力を養い、服飾分野の専門的な職業人として社会で自立する能力のある人材の育成を目指し、以下のような人物を受け入れます。
「学部の教育内容に強い関心と学習意欲をもっている人」
「優れた創造性や豊かな個性をもっている人」
「自己の認識や表現ができ、自己実現への意欲が高い人」

服飾学科の求める学力の3要素

▶ 知識、技能

・服飾を学ぶために必要な高校までに身につけておくべき基礎学力を備え、ものづくりやファッションビジネスへの興味関心がある。

▶ 思考力、判断力、表現力

・服飾の造形とビジネスについて求めることを自ら考え、それを実現するために必要なことを判断し、実現するとともにこれらのことを表現する力を有している。

▶ 主体性、多様性、協働性

・服飾の造形とビジネスについて自分の考えをしっかりと持ったうえで、自分とは違った立場や考え、発想を柔軟に取り入れて協力しながら物事を作り上げていく力を持っている。
・目的に向かい継続して研究、実践できる。

服飾表現学科の求める学力の3要素

▶ 知識、技能

・服飾表現を学ぶために必要な高校までに身につけておくべき基礎学力を備え、服飾を通して表現することに興味関心、探究心や行動力がある。

▶ 思考力、判断力、表現力

・舞台や映像メディアでの服飾表現や多様な社会生活における服飾表現、服飾業界のファッション表現など多様な服飾表現について考察し、必要なことを判断したうえで表現できる力を有している。

▶ 主体性、多様性、協働性

・自分とは異なる立場を尊重し、多様な人々の考えや発想を柔軟に取り入れて服飾の表現を高めることができる。

服飾文化学科の求める学力の3要素

▶ 知識、技能

・高等学校における教科科目についてしっかりと学び、服飾文化の創造と発信について学ぶための基礎的な知識や理解力を身につけている。

▶ 思考力、判断力、表現力

・服飾文化をめぐる諸課題について考え自分の意見を表現できる力を有している。

▶ 主体性、多様性、協働性

・現代社会の服飾をめぐる諸課題、および異なる国・地域や時代の文化に対して好奇心・関心を有し、それを大学での学修を通して追求したいという意欲を持っている。
・さまざまな考え方をもち人びとと交流し、多様性のある服飾文化の持続的発展に貢献したいと考えている。

■ファッションデザイン・造形 ■パターン ■色彩 ■ファッションイラスト
■ファッションビジネス・ファッション論・メディア ■一般教養など

[1] 1950年代のオートクチュール

講義形式 安部 智子

■内容

「オートクチュール」とは「高級仕立て服」とも訳される服のことを指します。では、私たちが現在着ている服とどこが一緒で、どこが違うのでしょうか？1950年代のディオールの服を題材に学びます。

■使用道具など

スクリーン、プロジェクター（パワーポイントを使用）

[2] アップサイクル小物作り

体験形式 井口 多恵子

■内容

デニム生地の布端の「みみ」を使って、花のブローチを作ります。包装用のリボンなどでも応用できます。

■使用道具など

<人数> 10名くらい

細いワイヤーを切るのので、ベンチをご用意ください。プロジェクター、スクリーン、（あれば書画機）

[3] 立体造形を作る

体験形式 川中子 貴雄

■内容

ストローを使った幾何学模様のヒンメリを制作します。線を立体にしていくテクニックをご紹介します。

■使用道具など

はさみ

[4] オリジナルスカート企画してみよう

体験形式 川中子 貴雄

■内容

生地のサンプルを見て触り、ターゲットに合ったスカートを企画します。（最大15名）

■使用道具など

筆記用具

[5] オリジナル生地制作

体験形式 山川 智子

■内容

羊毛繊維の性質を生かし、ウール生地に毛糸を使用して模様を描いてオリジナル生地の制作を行います。

■使用道具など

ハサミ、スチームアイロン、アイロン台

[6] コンピュータ編機でつくられる編地

講義形式 山川 智子

■内容

コンピュータ編機を使用して作られるニット生地に注目して、編地を見ながらどのような特徴のある生地かを解説します。

(鳥精機製作所の編機を所有の学校であればシステムと編地の関係の解説も可能です)

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[7] デザインの二面性

講義形式 白木 ゆみ香

■内容

～デザインへのアプローチ法～

実際に製品化されたものやモックアップを作成した作品などを紹介しながら、デザインする上で、どんなことを考えてデザインしているのか？どんな風にアプローチしていったらいいのか？等を自身の経験を踏まえて講義します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[8] 革小物製作

体験形式 高橋 大夢

■内容

ファッションプロダクトとは何かを学び、革を使用した小物の制作をします。※家庭科室など作業台のある教室を希望します。(最大15名程度)

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、筆記用具

[9] 洋装と和装の違い

講義形式 高橋 芽衣

■内容

普段私たちが着ている洋服と、成人式や夏祭りでは着る振袖や浴衣などの着物。その違いを比較しながら紹介します。また、現代的な着物についても紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、作品を着せる為のボディ1～2体

[10] 表現と造形

体験形式 瀧川 美佐子

■内容

見慣れているイラストや漫画の中にも、形による表現はあふれています。服飾のディテール製作(リボンなど)を通して、表現するための造形について考察します。(最大15名程度)

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、ハサミ、筆記用具、洋裁道具(布が切れるハサミ、糸、縫い針など)

[11] フェルトをつくる

体験形式 田口 雅子

■内容

ふわふわの羊毛を使ってフェルトを作ります。内容は時間や人数に応じて準備します。

※水道が使える環境が必要です。

■使用道具など

タオル、バケツ、アイロンなど一部高校側にご用意いただくものがあります。

[12] 型を彫ってステンシル

体験形式 田口 雅子

■内容

型を使用した染色は日本の伝統技法です。ステンシルは簡単なプリント技法とも言えます。内容は時間や人数に応じて準備します。

※水道が使える環境が必要です。

■使用道具など

タオル、新聞、水バケツ、アイロンなど一部高校側にご用意いただくものがあります。

[13] ポーチづくり

体験形式 田原 美津子

■内容

直線ミシン縫いで出来るポーチです。アクセサリ、イヤホン、USBなどの小物を入れるポーチを作ります。

■使用道具など

ミシン、ミシン糸、ポピン(ミシンが使える状態)、生地は準備しますが、手持ちのお気に入りの生地や残布(30cm×18cm程度)があれば、それを使用することができます。(最大10名)

[14] パンツの前あきの仕組みについて

体験形式 中村 枝里子

■内容

パンツの前あき(ファスナー部分)を紙で作し、仕組みを理解します。

■使用道具など

ハサミ、ホチキス、ホチキスの芯、定規、書画装置、スクリーン

[15] 様々な装飾技法について学ぶ

講義形式 中村 枝里子

■内容

服飾造形に用いられる装飾技法について、サンプルや実物作品を用いながら講義を行います。

■使用道具など

作品を着せる為のボディ1～2体、パソコン、スクリーン、書画装置

[16] ファッションとプロダクトデザイン

体験形式 肉丸 美香子

■内容

バッグ・シューズ・アクセサリ・帽子等のデザイン開発について学びます。簡単なグッズを制作します。※作業台のある教室を希望します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、筆記用具

[17] かぎ針編みで花のモチーフを作る

体験形式 野中 知世

■内容

編み方や使用する糸によってどのような花が作れるか紹介し、かぎ針を使用して花を作ります。

■使用道具など

はさみ(その他の材料や道具はこちらで用意します)

[18] 5W1Hを意識した衣装デザインについて

講義形式 満喜 朋美

■内容

舞台や映画、ドラマなどで使用されている“衣装”には着用するキャラクター、物語が不可欠です。どのようにデザインを生み出すか、深掘するかを考察します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、筆記用具、色鉛筆、A4サイズの白紙(1人2〜3枚)

[19] 自分に似合う服探し

講義形式 水野 真由美

■内容

自分の顔の形と衿の形との関係や、Tシャツ1枚の選び方について学びます。

■使用道具など

特になし

[20] 平面から立体へのテクニック

講義形式 水野 真由美

■内容

一枚の布からどのように服ができるのかを学びます。

■使用道具など

特になし

[21] コーディネートマップを作る

体験形式 宮澤 光与

■内容

設定したターゲットに合わせたコーディネート、ファッションテイスト別にカラーージュして1枚のボードにまとめます。

■使用道具など

切り抜いても良いファッション雑誌、はさみ、のり

[22] ニードルフェルティング

体験形式 宮澤 光与

■内容

羊毛とフェルトを作るための専用の針を使って小物を作ります。

■使用道具など

羊毛など本学で用意します。

[23] リボンで花を作る

体験形式 宮澤 光与

■内容

コサージュにしたり、ドレスの装飾としても使えるような花をリボンを使って作ります。

■使用道具など

洋裁道具(糸、縫い針、まち針、小ばさみ)

[24] 服の形を観察しよう

講義形式 井口 多恵子

■内容

種類の違うスカート(タイトスカート、フレアスカート、ギャザースカート)をボディに着せて、ボディと服の距離感、シルエット、パターンとの関係を観察します。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン、ボディ2体

[25] 生地を創造的再利用! ドールサイズのワンピース製図と制作をしよう

体験形式 笹部 小百合

■内容

タイトシルエットワンピースの製図から、Aラインワンピースの製図へ展開する説明を聞き、そのあとに持参した生地を裁断してドールサイズのワンピースを手縫いでアップサイクルします。(1時間コース)と(2時間コース)を用意しています。

■使用道具など

洋裁用具(糸、裁ちばさみ、小ばさみ、縫い針、マチ針) 紙切りはさみ パソコン、プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル

※端切れや古着の生地(30cm×25cmくらいを2枚)、不要な釦やリボンなどを持って来ててください。

[26] ダーツの展開方法について

体験形式 設水 彩加

■内容

ダーツは平面のものを立体的に仕立てるための方法の1つです。身頃原型を使用し、ダーツを展開することでデザインの一部へとどう変化していくのか体験しながら学びます。

■使用道具など

筆記用具、定規、紙切りはさみ、セロテープまたはメンディングテープ、書画装置、プロジェクター、スクリーン

[27] ドレーピングのデモンストレーション

講義形式 高橋 彩香

■内容

立体的裁断と呼ばれる手法で服のパターン（型紙）を作成する過程をご覧ください。

※作成する形、種類に関しては時間との兼ね合いをみて応相談。

■使用道具など

アイロン、ボディ（針がさせるもの、プラスチック製不可）

[28] ドレーピング体験

体験形式 高橋 彩香

■内容

立体的裁断の体験講座です。立体的裁断と呼ばれる手法で服の型紙を作る過程を体験します。

※所要時間により制作する形、種類は応相談。※条件：2時間以上時間がとれること

■使用道具など

アイロン、ボディ（最低限学生2人で1台+教員用1台※布製の針が刺せるもの）、シルクピン、裁ちばさみ、天竺

[29] スカートの形

体験形式 田原 美津子

■内容

基本のタイトスカートの考え方、製図を学びます。基本スカート（タイトスカート）を元にセミタイトスカート、フレアスカートなどへ展開し、さらにプリーツスカートやギャザースカートへ展開を行います

■使用道具など

A3用紙、定規、筆記用具、カッター（または紙用のハサミ）、セロテープ（出来ればメンディングテープ）

[30] 服の設計 — パターンと素材の関係 —

講義形式 羽賀 友美

■内容

洋服（既製服）はどうやって作られているのか、パタンナーとはどんな仕事をするのかをお話します。パターンと素材の関係に焦点を当て、シルエットの変化や柄による見え方の違いをご紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[31] 工業用パターンについて（CADパターンメイキング）

体験形式 羽賀 友美

内容

洋服（既製服）はどうやって作られているのか、パタンナーとはどんな仕事をするのかをお話します。また、アパレルCADを使って実際にパターン作成の仕方を学びます。

■使用道具など

アパレルCAD（東レ ACS / クレアコンポ I もしくは II）、パソコン、プロジェクター、スクリーン

[32] 色彩とデザイン

体験形式 桐山 征士

■内容

配色は見た目として美しいかどうかは重要ですが、理論は無視できません。理論の無い色づかいは主観的になりすぎ、表現の幅を狭くしてしまうことがあります。美しい配色ができるようになるためには経験が不可欠ですが、理論を上手に取り入れることで客観性を維持でき、自分の好みに偏ることなく適切な配色が可能となります。この講義では実習を通して「ファッションの様々なテイスト」の配色を学びます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、のり、はさみ、定規（小さくて可）、筆記用具

[33] 色彩の心理的効果をファッションに生かす

体験形式 水越 綾

■内容

私達の目には、「カタチ」よりも「色」が第一に飛び込んできます。ファッションでも、デザインよりもまずは「色」が大きな印象を左右します。その「色」を見て、私達は想像を膨らませます。「色」を単なる「色」と扱わず、「色」の背景にある心理的な意味を知り、ファッションに生かすことを講義と演習で体験します。※講義では JIS 対応 / 修正マンセルカラーシステムを用いて行いますが、PCCS でも対応可能です。その際は早めにお知らせください。課題は事前に高校の先生へデジタルデータをお送りしますので、生徒様が個人のタブレットで確認できるように準備ください。（最大 20 名前後）

■使用道具など

<生徒に準備頂きたいもの> 筆記用具、個人所有のタブレット <高校で準備頂きたいもの> プロジェクター、PC 接続ケーブル、電源

[34] 商品企画における色彩計画

体験形式 水越 綾

■内容

商品企画における色彩計画では、色彩の知識に加え、社会的状況・過去の動向・市場の状況といった情報を様々な視点から捉え、創造的な発想に繋げていきます。本授業では配色の基礎的ルールから、色彩計画のプロセスについて講義し、後半はグループで実際に色彩計画を体験して頂きます。色彩教育を STEAM 教育として実施するヒントになればと思います。

※講義では JIS 対応 / 修正マンセルカラーシステムを用いて行いますが、PCCS でも対応可能です。その際は早めにお知らせください。課題は事前に高校の先生へデジタルデータをお送りしますので、生徒様が個人のタブレットで確認できるように準備ください。（最大 20 名前後）

■使用道具など

<生徒に準備頂きたいもの> 筆記用具、個人所有のタブレット <高校で準備頂きたいもの> プロジェクター、PC 接続ケーブル、電源

[35] 基本のファッション画 — 洋服の描き方と表現方法 —

体験形式 数井 靖子

■内容

ファッション画とは、アパレルメーカーや舞台衣装製作会社などで衣服の企画をする時に使用する絵のことです。初めての人でも、絵が苦手な人でも描ける方法で、一緒にファッションデザイン画を描いてみましょう！（最大40名程度）

■使用道具など

筆記用具、あれば書画カメラ

[36] ファッションデザインコンテストに向けたファッション画を描いてみよう

体験形式 数井 靖子

■内容

基本のファッション画とは違う、ファッションデザインコンテストに向けたファッション画を自由な発想で考えて描いてみましょう！（最大40名程度）

■使用道具など

筆記用具

[37] はじめてのファッション画 — デザイナー気分でファッション画を描こう —

体験形式 白木 ゆみ香

■内容

ファッションデザイン画やハンガーイラストを手際よく描くコツを習得します。

■使用道具など

鉛筆（HB以上）、消しゴム

[38] 気分はファッションデザイナー!!

体験形式 肉丸 美香子

■内容

デザインのアプローチの方法を学びます。デザイナーの気分で服のデザインを考えてみましょう（表現方法等も含めて）。

■使用道具など

筆記用具、色鉛筆、クレヨン、マーカー等、着彩できるもの。
プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル

[39] フォーマルウェアの基礎知識

講義形式 井口 多恵子

■内容

T.P.Oにあった服選びができるように、フォーマルウェアの基本的なスタイルを学びます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[40] ハイカラへ、そしてモダンへ — 明治・大正・昭和初期の和の装い —

講義形式 梅谷 知世

■内容

西洋文化の影響を受けた明治時代以降、女性の服飾は、洋装の導入よりもむしろ和装の変容という方向で新しい時代に合ったあり方が模索されました。着物にリボンや parasol を組み合わせたハイカラな和装や、西洋風模様の着物をドレス風に着こなすモダンな和装など、近代の新しい和装の美について、美人画や雑誌記事を通して考えます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[41] ファッションに興味を持つ — 洋服がお店に並ぶまで —

講義形式 川中子 貴雄

■内容

洋服がお店に並ぶまでの過程、仕掛けをご紹介します。一枚の洋服が出来るまでの知識を深め、少しでもファッションに興味をもって頂きたいです。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、ケーブル

[42] 歴史を着る — 体感するファッション史 —

講義形式 菅野 ももこ

■内容

ファッションの歴史を学ぶためには、様々な方法があります。この授業では、19世紀の女性の衣類の中でも「体を美しく見せる」ために必要とされたコルセットのレプリカを着用し、ファッション史について楽しみながら理解を深めます。

■使用道具など

パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン

[43] 世界の服に思いをはせる — 着て学ぶ民族服飾文化史 —

講義形式 菅野 ももこ

■内容

世界各国、各地域には、その土地の気候や信仰にあわせて、多様な発展を遂げてきた衣装が存在します。この授業では、限られた素材を余すところなく使用し、自然から身を守り、各地域で異なる信仰の意識が反映された服の形や装飾表現について、レプリカ資料を用いながら理解を深めます。

■使用道具など

パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン

[44] デザイン考案 — 製品化 —

講義形式 白木 ゆみ香

■内容

～デザインへのアプローチ法～

実際に商品化された自身の作品を題材にして講義します。段取りやコストの問題、クライアントの要望、安全基準、その他いろいろな問題をクリアしながらひとつの商品は成り立っています。デザイナーはただデザインするだけではなく、いろいろな問題と向き合いながらデザインしていることを学ぶ講義です。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[45] 「歴史」から学ぶ未来のファッション — 男性服・女性服からジェンダーレスファッションへ —

講義形式 鈴木 桜子

■内容

ファッションの常識が大きく変わろうとしています。女性はスカート、男性はズボン、というかつての当たり前からファッションの多様性が問われる時代に入っています。ジェンダーレスファッションが話題のいま、「歴史」からそのルーツをたどり、未来のファッションを考えていきます。

■使用道具など

パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン

[46] アートとファッション — 名画に見るファッションの秘密 —

講義形式 鈴木 桜子

■内容

一枚の絵画に描かれた「人」とその「服」。時代の美の表現者として画家たちが描いた服飾にスポットをあて、そこに秘められた意味と芸術表現を捉えながら、アートとファッションの関係を探っていきます。

■使用道具など

パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン

[47] ファッショントレンドの生み出されるまで

講義・体験形式 鈴木 康久

■内容

毎シーズン変化していくファッショントレンドですが、実は様々な要因が影響し合いながら次シーズンのトレンドが生み出されていくのです。その流れを時系列に学んでいきます。講義中心となりますが、一部演習も入ります。

■使用道具など

筆記用具、スティックのり、はさみ（演習時に使用）

パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン

[48] トレンドカラーは実は2年前から決まっている？

講義・体験形式 鈴木 康久

■内容

実シーズンの約2年前に策定されるトレンドカラーの仕組み。そして実際にそれらが、具体的なトレンドカラー提案として、どのように商品計画に活用されていくのかを学びます。講義中心となりますが、一部演習も入ります。

■使用道具など

筆記用具、スティックのり、はさみ（演習時に使用）

パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン

[49] ファッション業界とサステナブル — 産学連携プロジェクトから学ぶファッションの未来 —

講義・体験形式 鈴木 康久

■内容

杉野服飾大学ファッションビジネス・マネジメントコースでは、産学連携プロジェクトを通してファッション業界が抱える課題や取り組みを学びます。それらの事例と共にサステナブルの重要性をグループワークや個人演習を行いながら学習していきます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン、筆記用具

[50] ファッション業界の職種について — どのようなお仕事があるの？ —

講義形式 五月女 由紀子

■内容

ファッション業界で私たち消費者が接点を持つのは店舗やECという買い物をするところがほとんどですが、実はその裏でたくさんのお仕事があります。ものづくりから販売までの職種と、そのためにどのような勉強をするのかをご紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[51] ファッション EC と店舗の役割

講義形式 五月女 由紀子

■内容

ファッション業界では、コロナ禍以降 EC による販売が増加傾向にあります。スマートフォンで購入できるのは便利ですが、店舗に行って買い物をしたい人も多いです。どちらもファッション製品を買うためには必要です。未来の購買体験について学びます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[52] 日本のファッション製品はどこで作られているの？

講義形式 五月女 由紀子

■内容

日本のファッション製品は97%が海外で作られています。中国生産が大半ですが、最近では東南アジアやバングラデシュなどの生産が多くなっています。自分たちが着ている洋服がどこで作られているのかのグローバルな知識を深めます。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[53] メディアとファッション — 服飾表現の可能性 —

講義形式 千代崎 寛

■内容

ファッションは衣服（モノ）だけで成り立つものではありません。写真や映像などの視覚情報や舞台やショーなどの空間表現、スタイリングやショップのデザイン、バーチャルイメージに至るまで多種多様なメディア（媒体）によって伝えられ、人々がそれを受容することで形成されていくのではないのでしょうか。この講義では、そのイメージ表現の可能性と仕事について考察していきます。

■使用道具など

プロジェクターまたは大型モニター

※少人数（コンパクトな会場）の場合であればプロジェクターなど持参することも可能

[54] ファッションフォトの変遷 — 写真とファッションの関係 —

講義形式 千代崎 寛

■内容

ファッションは衣服（モノ）だけで成り立つものではありません。写真や映像などの視覚情報や舞台やショーなどの空間表現、スタイリングやショップのデザイン、バーチャルイメージに至るまで多種多様なメディア（媒体）によって伝えられ、人々がそれを受容することで形成されていくのではないのでしょうか。この講義では、そのイメージ表現の可能性と仕事について考察していきます。

■使用道具など

プロジェクターまたは大型モニター

※少人数（コンパクトな会場）の場合であればプロジェクターなど持参することも可能

[55] 平安時代の流行歌謡

講義形式 伊藤 高広

■内容

平安時代の後期に流行した「今様」という歌謡、そこに歌われた当時の最先端の風俗を、絵画資料などととも紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[56] 桃山時代の流行歌謡

講義形式 伊藤 高広

■内容

カブキ者と呼ばれる人たちに代表される江戸時代初期の風俗を、流行歌や絵画資料などととも紹介します。

■使用道具など

パソコン、プロジェクター、スクリーン

[57] ソーシャルメディアで英語を学ぼう

講義形式 北澤 茉奈

■内容

ソーシャルメディア (Instagram, YouTube, Facebook など) の投稿や投稿に対するコメントを読み、写真や商品がどのように描写されているのか、人々がそれにどのように反応しているのかを徹底的に分析します。また、「# (ハッシュタグ)」検索を通して英単語のイメージを掴みます。これから世界に向けて、何かを発信する際に必要な英語スキル、検索スキルを身に付けていただければと思います。

■使用道具など

インターネット環境、プロジェクター、スクリーン

[58] 日英語を対照させながらそれぞれの背後にある言語・文化について考えよう

講義形式 北澤 茉奈

■内容

本や映画・アニメの翻訳を通して、日英語の表現や文章構成を比較し、それぞれの背後にある言語・文化的特徴について考えます。母語に加えて外国語を学ぶことが「コミュニケーションとは何か」という大きな問いについて考える際にも重要になる可能性について論じます。

■使用道具など

インターネット環境、プロジェクター、スクリーン (パソコンは持参致します)

[59] 教員養成におけるマイクロティーチング

講義形式 白井 勝美

■内容

教員養成科目 (教職課程) の中に「教育方法論」という授業があります。その演習内容に「マイクロティーチング」があります。計画を立てた後に、5分間ないし10分間の授業を実施します。90分間を想定しており、具体的には指導者が30分間説明を行い、生徒は30分間で授業を構想し、代表生徒2名が実施し、指導者がまとめを行います。(合計90分)

■使用道具など

画用紙 (名表用)、マジック (参加者÷3)

[60] 人は「見た目」が大切って本当か?! — 外見心理学から人の無意識的情報を読み取る —

講義形式 手島 陽介

■内容

「馬子にも衣装」ということわざがあります。それは、馬子のような身分の低い人でも羽織袴を着れば、立派に見えることから、どんな人間でも身なりを整えればそれなりに見えるという意味で使われています。では、本当に身なり (見た目) は重要なのでしょうか? 心理学的視点から、「見た目が他者に与える影響」について体験を通して探っていきます。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン (パワーポイントや映像を使用)

[61] ココロと身体の関係とは?! — 心理学的視点から健康を考える —

講義形式 手島 陽介

■内容

心理学の視点から、「健康」ということについて考えていきます。現在のライフバランスや自分のストレスの度合いなどを客観的に見ていき、自己を発見するきっかけになって頂ければと思います。また、今後どのように改善していくか等、体験を通して学んでいきます。今後の生活に役立つきっかけになって頂ければと思います。

■使用道具など

プロジェクター、スクリーン (パワーポイントや映像を使用)

[62] 歩くことで、表現してみよう!

体験形式 水上 雅子

■内容

毎日の生活の中にある全てが、その「人」を表現しています。では、「美しい歩姿」とはどんな姿でしょうか? 自分らしいウォーキングとは? 基本的な姿勢とウォーキングを体験し、自分らしさを探ります。

■使用道具など

<生徒に準備頂きたいもの>動きやすい服装で、うち履き(スリッパのようなかかとの無いものは不可)、できればスマートフォン(自分の姿勢を写します)
<高校で準備頂きたいもの>パソコン (パワーポイントを使用)、プロジェクター、スクリーン、音楽プレイヤー、鏡、ホワイトボード

[63] 自分の作品を表現してみよう! — ファッションショーでの歩き方 —

体験形式 水上 雅子

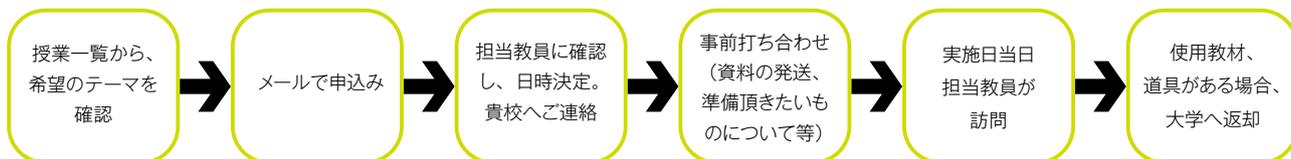
■内容

基本的な対象者は、自分の作品を着装し、ファッションショー形式で発表する生徒の皆さんです。自分の作品への想いをファッションショーで伝えるためには、どんな表現が良いのでしょうか? 基本的な歩き方から自分の表現を探ります。

■使用道具など

<生徒に準備頂きたいもの>動きやすい服装で、うち履き (スリッパのようなかかとの無いものは不可)、ファッションショーで使用予定の靴、完成していれば作品、できればスマートフォン (自分の姿勢を写します)
<高校で準備頂きたいもの>パソコン (パワーポイントを使用)、プロジェクター、スクリーン、音楽プレイヤー、鏡、ホワイトボード

< 出張授業 実施までの流れ >



※高校1年生～3年生を対象といたします。

※1コマ45分～90分を目安としています。貴校の授業時間と異なる場合はご相談ください。

※スケジュールによりご希望の講座・教員でお引き受けできない場合がございます。

何卒ご了承くださいたくお願い申し上げます。

※出張授業に必要な経費は、本学の負担とさせていただきます。但し、使用道具の一部に高校様へご用意頂きたいものがある際はご相談させていただきます。

※出張授業一覧にあるテーマ以外の授業や本学施設内での体験授業、授業見学なども実施可能です。遠慮なくご相談ください。

< 申し込み方法 >

メールでお申し込みください。

【件名】に「出張授業希望」、【本文】に学校名、郵便番号、住所、連絡先電話番号、ご担当の先生氏名、希望講座名、受講する生徒様の学年、人数、希望日、希望時間をご記入の上、

入試広報課 出張授業担当宛（shinro@sugino.ac.jp）にお送りください。

※授業ご希望日の1か月前までにお申し込みください。

※ご希望日程は複数頂けますと、日程調整がスムーズです。

< 問い合わせ先 >

〒141-8652 東京都品川区上大崎 4-6-19

学校法人 杉野学園 入試広報課（出張授業担当）

電話：03-3491-8152（直通） FAX：03-3491-8136 MAIL：shinro@sugino.ac.jp